



中植 昭彦

地方創生と本町の将来は

急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方人口の減少に歯どめをかけ、東京圏への人口の過度の集中を是正し、住みよい環境を確保し、活力ある社会を維持することが喫緊の課題である。本町も今後の町政運営において厳しさが増すことが想定される。

このため、国において、まち・ひと・しごと創生法が制定され、国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成すること、地域社会を担う個性豊かで多様な人材を確保すること及び地域における魅力ある多様な就業の機会を創出することの一体的な推進を図ることとしている。また、国と地方が一体となり、中長期的視点に立つて取り組む

必要があることから、本町においても、国の長期ビジョン及び国の総合戦略を勘案しつつ、本町における人口の現状と将来の展望を提示する総合戦略を早期に策定し、基本的方向、施策を具体化することが必要だと考えている。

問 町長が考える本町の将来のランドデザインを具体的に伺う。

答 地方創生の理念を念頭に、人口減少が地域にもたらす影響を見きわめ、国と基調を合わせ対策を講じていくことが喫緊の課題である。同時に、人口減少下において持続可能な行政サービスを町が提供し続けるため、一定の生活圏域において広域的な連携を図りつつ、個性を生かしたまちづくりを進めていくことが大切である。次世代

を担う人材を育成、質の高い教育の提供、高付加価値産業や観光振興を図ること、まち全てが地域の資源という見方をすれば、その資源を活かした新たな需要を開拓することが重要になってくる。実現に向け、関係機関とも連携をしながら、町民とともに主体性を持って取り組んでいく。



一般質問



美谷 芳昭

一、能勢の郷の今後の行方は！ 二、能勢高校の存続に向けての対策は！

能勢の郷の今後の行方は

問 能勢の郷は平成25年度をもって閉鎖され、その事業用地は府より町に買収要請があり、地元の意向も踏まえて、今日まで買収に向けて協議が行われてきたが未だに結論に至っていない。

一度は町が買収する意思を示した経過もあり、町が反故にすると府との信頼関係は損なわれると思われるが、今後町としてどう対処するのか。

答 府に対する買収意思は軽くは考えていない。そして、地元の要望、町議会の要望に沿うよう今も思っており、公売には絶対したくない考えは少しも変わっていない。

今後は、市町村課（府）に調整していただき、府との信頼関係が損なわれないようこの問題を解決していきたい。



荒廃しつつある能勢の郷

能勢高校の存続に向けての対策は

答 能勢高校の再編については、現段階では何も決まっていない。

今後、能勢高校は、今年度から5カ年間、国からスーパーグローバルハイスクールの指定を受け、国際人の育成に、また、29年度には学科再編にも取り組む。

今後、全町挙げて能勢高校の存続と、魅力化に向けて取り組むとともに、府・府教委に強くアピールしてまいりたい。



能勢高校の魅力化を！